

---

## 第4回 草津市総合計画策定委員会

---

開催日時	令和元年11月26日(火) 9時30分から10時まで
開催場所	庁議室
出席者	市長、山本副市長、北中副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(公社担当)兼危機管理監、総合政策部理事(草津市未来研究所・行政経営担当)、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康福祉政策担当)、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長、監査委員事務局長
欠席者	なし
議事概要	下記のとおり

### 1. 案件

#### (1) 将来ビジョンについて【審議案件】

##### 【事務局より資料に基づき説明】

- ・第6次草津市総合計画での方向性として整理した「4つの視点」について、総合計画特別委員会・総合計画審議会での意見を踏まえつつ、「つながり」というキーワードを使ってより具体的な方向性としてまとめた。
- ・現在、総括副部長に照会中であるキャッチフレーズについて、資料1の「4つの方向性」に加えて、人口減少・少子高齢化の課題に挑み、これからも市が発展していくイメージができるものをご提案いただきたい。

##### 【質疑、意見など】

なし

#### (2) 将来のまちの構造について【審議案件】

##### 【事務局より資料に基づき説明】

- ・現行の「将来のまちの構造」を大きく変える必要はないと考え、まちの3つのゾーンについては、第5次草津市総合計画のゾーン名をそのまま記載している。
- ・まちの拠点は「にぎわい拠点」「学術・交流拠点」「観光レクリエーション拠点」という名称にした。
- ・第5次草津市総合計画で「環状道路」としていたものを「環状軸」とし、「まちなか環状軸」「ひがし環状軸」「にし環状軸」に変更するとともに、「くさつエコミュージアム」を「湖岸レクリエーション軸」と変更した。
- ・10月2日の策定委員会においてお示した「みどり軸」については、「草津川跡地だけみどり軸としていることが気になる」という意見があり、「草津川跡地」の位置関係を示すものとして記載している。
- ・第5次草津市総合計画では「水のみち」として位置付けていた葉山川、草津川、狼川については、本市の地理特性を示すうえで重要なものとして「主要河川」として記載している。
- ・今後、都市計画マスタープランの策定を控えているので、都市計画部とは密に調整を図りながら検討していきたい。

##### 【質疑、意見など】

- ・「まちなかゾーン」を京滋バイパスまで広げるという考えはないのか。
- 現在、検討いただいている次期都市計画マスタープランとの整合を図る必要があると考えている。今後、次

期都市計画マスタープランの内容との整合を図るうえで、必要があれば区域の変更を検討する。

・特別委員会で指摘されていた地域間の人口の見通しについて、どのように分析し、反映しようとしているのか。  
→データブック2019に掲載している学区別の人口推移の実績値をもとに分析を行う。見通しについては、推計が難しいため、令和2年度の国勢調査の結果をもとに、草津未来研究所とも調整しながら進める必要があると考えている。

・地域再生計画で想定している地域間の人口格差についてどう反映するのか。

→周辺部と都市部がつながり、草津市全体が発展していくという視点が必要であり、そのためには都市計画部の3計画と整合を図りながら策定を進めることが重要であると考えている。

・みどり軸を草津川跡地に変更したが、問題はないか。

→この記載であれば、問題ない。

### (3) まちづくりの基本理念について【審議案件】

・前回の策定委員会以降、各部局に確認を依頼し修正を加えたものについてお示ししている。

・前回からの大きな変更点として、まちづくりを進めるにあたって必要となる協働の視点とSDGsの理念を追記した。

【質疑、意見など】

なし

## 2. その他

---

【市長から挨拶】

・総合計画はこれから10年、20年、30年後を見据えた本市にとっての最重要計画である。それぞれがよく考え、英知を結集して、より良い計画にできるようよろしく願いたい。

以上